

令和4年度 横浜旭陵高等学校 第2回学校運営協議会

- 1 日 時 令和4年11月19日（土）10:00～12:00
- 2 場 所 県立横浜旭陵高等学校 B棟 1F 多目的室
- 3 出席者 学校運営協議会委員：8名（欠席 山田綾香様 佐久間桂一様）
学校関係者：10名（管理職・総括教諭他）（欠席 山森総括教諭）

4 内 容

第1部 評価部会（10:00～11:00）

（1）校長あいさつ

（校長）

本校は令和8年度を持って再編統合となります。令和9年度の4月から旭高校と統合となり新設校として生まれ変わる予定です。旭高校は学年制の学校であるのに対して、本校は単位制の形となっています。今後は、学年制の一般的な普通科高校として運営されていく予定です。令和8年度までで、両校の名前は使われず、旭陵高校の校舎は使われなくなります。合わさるときには、お互いの高校の良さを持ち寄って1つの高校となる予定です。本校ではこれまでに、ズーラシアの皆さんにご協力いただいて、ズーオロジーのような特色のある授業実施してきました。このような科目を残すことができるのかという話は、今後の話し合いを経て決定していくことになります。

今決まっていることはそのような感じです。12月と3月のところで教育委員会、本校、旭高校の担当者で立ち上げの会を行います。これを来年度、再来年度と積み重ねることで、次の学校のための準備の話し合いをしていきます。

校名については、瀬谷高校と瀬谷西高校の校名が「横浜瀬谷高校」になります。学校名と言うのはそれぞれの在校生にもアンケートを取りながら、決めていくような動きになるので、令和8年度頃、決定していくかなと思います。しばらく時間が経たないとわからない部分もあります。また、分かり次第、随時この場をお借りして新校についてどのような話ができていくか、ご報告しようと思います。

今日については、学校運営協議会として、年度当初の第1回では本校が今年度どのような考えで教育活動を行うのかを述べ、みなさまからご要望等をいただいてスタートしました。

今回は、年間3回の会議のうちの2回目ということで、中間地点としてどのような取り組みをしてきたのかについて、ご説明をいたします。

（2）グループより目標達成状況報告

（研究開発G 東南総括教諭）

4月にも説明した通り、組織的な授業改善やICTの利活用の研究をすすめているグループになります。目標の達成状況については、第1回の授業見学を経て、10月から11月にかけて、第2回の授業見学月間を実施したところです。第1回のところでは、23人の見学者、第2回では14人ほど増えたという状況です。

授業評価については校内のBYODを活用し、特に1年生については一人1台端末の活用をするなど授業改善につなげる取り組みをしてきました。一番最後のところに、授業評価についての資料を載せさせていただいています。第1回の生徒による授業評価の結果もつけさせていただいています。お時間のある時にご覧ください。もうすぐ第2回の授業評価も実施されますので、こちらも授業改善につなげていきたいと思っています。

4月には、新たな教員も着任しておりますので、ICT利活用の講習会も随時開かせていただいております。現在のところは、PTAのご協力もあり、昨年度の終わりからすべての教室にプロジェクターの設置ができました。

また、先日には、ICTを利活用した研究授業の全体協議会を行いまして、ICTの利活用の方法や実践の共有をさせていただきました。各教科の研究授業や研究協議には指導主事も来校して、今後の授業改善の手立てになったのではないかと思います。

(学事情報G 大久保総括教諭)

学事情報グループでは、成績、教育課程、入試選抜等々、業務を行っています。成績処理については、2, 3年次生が旧の教育課程、1年次生が新の教育課程と、異なる観点での評価方法が混在する状況での成績処理となりました。成績処理シートを工夫することによって、ミスなく処理することができました。

来年度以降は、2年次生も新教育課程となります。教員の持ち時間も増加し、生徒の学びの質をどう保障していくかが課題となります。

また、今年度から、在県外国人等特別募集が始まりまして、計3名の入学がありました。そのうちの2名が日本語の習得が今後の課題となってくる生徒となっています。学校設定の科目として日本語指導の科目を実施することができないか、検討を進めている所です。順調に進めば、来年度のところで設置できるのではないかという話し合いが進んでいるところです。

続いて、入試選抜の方ですが、今年度の募集も共通選抜が231名、在県が7名の募集となっています。報道によれば、1月頃にコロナの感染者数がピークに達するとの情報もあります。昨年度の対応からは変更も何点かありますので、さらに気を遣わなければならない部分もあります。安全を確保しつつ、無事に入試選抜を終えられればと思っています。

新旧移行の時期であり、課題が山積していますが、一つ一つを処理して、課題を解決していきたいと思っています。

(進路支援G 工藤教諭)

進路支援Gでは、キャリアの時間の企画、ガイダンス、生徒のキャリアカウンセリング、看護体験などを担当しています。今年度より、1年次では1人一台端末をキャリアの時間で活用する新たな試みもしています。

卒業年次では、就職の1次試験が終わり、内定をもらった生徒もいれば、まだまだこれから就職活動をしていく生徒もいます。進学では、指定校の推薦の試験に向けて、職員のほうでも、面接練習をしているような状況です。

最近では、受験の形も多様化し、授業だけの進路指導だと限界があると感じております。例年と同じ流れではうまく行かない部分もあり、これから改善が必要になる部分も多くあります。

(生徒成長支援G 山森総括教諭 教頭代読)

生徒成長支援Gは、俗にいう生徒指導をするグループです。安心安全な場所である学校を守るために、2つの柱として生徒指導、生活指導そして教育相談を行っています。

前回、5月の学校運営協議会では、生徒指導に関して、「規定の日数を全うできない生徒が多数おり、その対応に苦慮しています。粘り強く対応していきたいと思っています。」と報告いたしました。

その後も特別指導は「0」ではないですが、その後の学校生活へ繋げることができているのではないかと思います。

最近では、ちょっとした気の緩みから軽微な特別指導対象になる生徒がでてきています。年次を中心に今一度、学校生活を送っていく上でのルールの再確認を行っていく予定です。

教育相談に関しては、スクールカウンセラーの拠点校を担っているため、利用はしやすいです。スクールソーシャルワーカーの来校日も多く設定されていて、受け入れ体制は充実しています。今後も支援を継続していきます。

今後も生徒の成長を見守っていきたいです。

(自主活動支援G 浦野総括教諭)

自主活動Gでは、部活や生徒会活動、行事活動、地域との連携が主な業務になってきているかと思います。新型コロナウイルス感染症への対応がはじまって数年が経ち、うちの生徒からすればこの形が普通となってきました。これまでに比べると、かなり規模が縮小されているかなと思います。一方で、教員や生徒にもできる範囲での工夫が見られるようになってきました。

部活動では、関東大会に出場が2つございました。陸上部と弓道部です。陸上部は秋の大会では引退していたのですが、弓道部は二年生が秋の大会でも関東大会に出場しています。

また、体育館の改修工事にともなって体育館が使えない状況にあるので、活動場所が確保できないという苦労があります。幸い、瀬谷西高校と瀬谷高校が統合するというところで、夏以降、瀬谷西高校の施設に空きが出ているので、利用させてもらっています。

9月にはレクリエーション大会で、球技に限らず、縄跳び、綱引きなどをしております。今年度は体育館が使用できないので、会議室前の廊下を使って校舎内で綱引きを行いました。これが結構盛り上がりまして、生徒、教員ともにとてもいい機会となりました。

文化祭では、公開を1日にして保護者の方に参加していただく形を取りました。体育館が使えないという制限がある中では、生徒はかなり精一杯頑張ってくれました。

これから先、生徒会役員の改選があります。少しずつクラスの委員が出席し、少しずつですが活気が出てきています。今年は嬉しい悲鳴というか、しっかりと選挙を行って、落選してしまう生徒が出てくる状況にあります。立候補者も増えて活気が出てきたのは良いことですが、課題としてはこれを継続させていくことかと思っています。

(総務管理G 難波総括教諭)

総務管理Gでは、広報活動に重点を置いて行ってきました。本日の資料には、学校案内がございます。ほぼ全面リニューアルして、生徒の声と写真を中心に中学生が見て実感としてわかるようにしました。制服についても、マネキンではなく生徒に着てもらい、写真を撮ってもらいました。

今年度は、生徒にも積極的に協力をしてもらって、広報活動を展開しております。学校説明会をすでに3回目まで実施しています。旭公会堂で1回目と2回目、シリウスで3回目を行いました。学校説明会では、横浜旭陵高校を知っていただくことを目的としました。来場者はそれほど多くなかったですが、遠方からの参加者が増え、そういった意味では、効果があったと考えています。

学校説明会の内容については生徒の活動として、放送研究部にパワーポイントを使って説明してもらいました。生徒の説明というのは、どの学校でもやっていることではあったと思いますが、昨年度までの本校ではそこまで実施できていませんでした。しかし、本年度からは、このように生徒にも協力してもらった形となりました。学校説明会についてのアンケートも実施するようにしたところ、生徒による説明に関してはどの会場でも多数の賛同を頂きました。

また、中学校訪問では、なかなか日々の多忙な業務の中で進まない部分もありますが、広い範囲で先生方にご協力いただき、PR活動を行っています。HPも行事があるたびに更新し、タイムリーに発信できるよう、職員間で連絡を取り合いながら活動しています。

今後も、学校説明会が1月に控えておりますので、先生方と協力してやっていきたいと思いを。

防災関係は、3月に3.11を風化させない取り組みがあるので、丁寧に進めていきたいと思いを。

校内整備では、PTA会長にもご協力いただいて、季節に応じて玄関に植栽をしていただいております。ちょっと殺風景なところがあるので、生徒が通るところにはクリスマスバージョンの装飾、植栽をしていきたいと思いを。

今後の2、3年の計画では色々なところを変更していかなければいけないですが、なんとか変更に至るまで充実させていくよう、グループとして努力していきたいと思いを。

(副校長)

以上、中間報告をさせていただきました。

委員の方々からご意見を賜りたいと思いを。順にお願いします。

(3) 委員よりご意見ご要望等

(小玉様)

それぞれのグループで取り組んでいただいていることに敬意を表したいと思いを。

そのうえで、少し伺いたいことがあります。初めて聞く、学事情報Gのところと総務管理Gのところに、在県外国人等特別募集のことが書いてあります。随分前からあったのかもしれないですが、どんな生徒さんがいらっしゃるのか、また、課題について伺いたいと思いを。

(副校長)

私の方から簡単にご説明申し上げます。

本校の方で在県募集を決定したのは昨年の秋頃です。実際に募集が始まったのは、この4月の新入生からです。県からは、昨年の秋くらいから本校で取り組むようにとのことでした。入学者選抜自体、一般の受検生とは異なる形で実施しているものです。定員は7名となっておりますが、実際に受検したのは3名で、その3名が全員入学したということです。3名のうち2名は日本の中学校に通っていない、来日1年未満の生徒で、日本語でのコミュニケーションもまだまだ難しい状況です。

中国籍の2名の生徒については、ちょうど今年度、中国語の話せる在県のコーディネーターの方が本校の担当になりましたので、放課後などを活用して日本語学習をかなりやっています。

もう1名のブラジル国籍の生徒は日本の中学校へ通っており、日常生活の会話には問題がないほどの日本語の能力を身につけています。入学枠としては在県ですが、学校の授業では取り出しをしなくてもなんとかなっている状況です。

ただ、さきほど学事情報Gからあったように、日本語が未熟な生徒が今年度入学してきたので、次年度に向けてそのフォローのために学校設定科目による日本語の授業の設置を目指しています。

(久保様)

ご報告ありがとうございました。コロナの影響が学校に大きく影響することを実感し、学校行事等でもコロナ以前の状況には戻せていない状態なのだとわかりました。

動物園でもコロナ対策を行い来場者数については8割9割に戻ってきています。県全体としての制限もあると思いを。生徒さんたちがかわいそうという気持ちもありま

す。学校の外に出るような活動は難しいという話もあったと思うのですが、今後元通りになっていくような予定なのでしょうか。

(浦野総括教諭)

いまは、県は具体的な指示を出してこないのが現状です。

以前の緊急事態宣言においては、県が指示を出すこともありましたが、県から、部活動は何日以内とか何時間以上やってはいけないということがあったのですが、今はほとんど学校が独自に判断している状況です。

文化祭でも近隣の学校の情報を集めましたが、2日間実施の学校もあり、公開は1日だけという学校もあり、本校より規制がゆるかったり、厳しかったりマチマチです。判断する側としては、事前に判断をしなくてはいけないところなので、正直、判断するのは辛いところです。

やっていい、やってはいけないということを上から言われるのではなく本校独自に判断していく状況になっているので、その判断が難しいです。どのグループもそうだと思いますが、このくらいの規模ならできるとか、そういうことを判断している状況になっています。

(大和田様)

お話をお伺いしている中で、他校の先生との交流、校内情報共有など、生徒さんに対する指導に力を入れておられる様子がよくわかりました。

その中で、コロナ禍で、行事・部活動で元に戻るほどではないにしても、教育活動を継続されていることがわかりました。生徒の進路活動が始まる中で、これからコロナで第8波が予想されているが、生徒が不安に思うことについての対策や取り組みがどうなっているのかお聞かせください。

(大久保総括教諭)

卒業年次の方からお答えします。

就職の求人票は昨年よりも多く頂いている状況です。そういう中で会社見学に伺う夏に、コロナが増えた時期がありまして、やはり生徒たちも高校生なのでカラオケに行きたくなったり、外で一緒に騒いだりしたくなってしまうんですが、生徒には大事なチャンス逃さないように、大事な時期に悲しい思いをしないように、自分たちの中でしっかり考えて行動しようね、ということも6月くらいからずっと言い続けてきました。

家庭内感染などは避けられないところであるので、感染してしまったときは、進路の担当の先生から説明して、先方にご理解いただくことをしてきました。専門学校の方は、例年通りAO入試が8月頃から始まっております。AO入試や指定校推薦などは現在、順調に動いています。

新学習指導要領になってから、大学の方も入試の形態が変わりまして、総合型選抜など生徒がプレッシャーに感じてしまう大学入試、専門学校入試があることで、ハードルが高くなって来ていると感じています。生徒の人柄だけでなく、思考力・判断力・表現力を見るような面接やグループワーク、プレゼンテーションなどの課題が増えてきています。受験の指導だけでなく、精神面での指導も必要になってきているなという感じです。

今の卒業年次生は1年次のはじめに2ヶ月間学校へ来られず、1年次の6月後半から学校生活が始まった生徒たちです。

2年次では8月に分散登校や、オンライン学習があり、なかなか外での活動ができない年次だったので、どうしても入試のところで、自分の考えを表現する力が弱い学年だと感じています。今まで以上に卒業年次については生徒一人ひとりに対応していきたいと思っています。就職も多くの内定を頂いています。AO入試で合格を頂いている生徒も多いので、今後も指導をしていきたいです。

(中野様)

地域では7年前に小学校がなくなってしまいました。来年は中学校がなくなることに
なります。そして、5年後にこの学校がなくなるということで、大変に寂しい思いをし
ているところです。少しでも元気で新しい学校に行けるように祈っています。また、い
じめだとかそうすることがないように祈っておりますのでよろしくをお願いします。

本日の資料の冊子の最終ページに掲載されている生徒による授業評価について、平均
で4とか3が多いのですが、1とか2の生徒をどうしていくかということが大事になっ
てくるはずだと思います。ぜひ、みんなが同じ授業をできる環境を整えてほしいと思
います。

(渋谷様)

中野さんがおっしゃるように、私もびっくりしました。先日9月6日、地域貢献があ
ったと思いますが、連合の方ではグリーンヒルという大きな団地があって、旭地球を守
り隊という団体があり、その2つも一緒に参加しましたが、1年生が元気で一緒に泥ま
みれになりながらごみ拾いをしました。本当に頼もしいという感じがしました。みんな
が力を合わせて何かをやるというのは素晴らしいですね。みんなが力を合わせてやる
ということを、学校で身につけてもらいたいと思います。

綱引きについても大変いいなと思いました。我々としても、できる限りボランティア
などの地域貢献の機会を連絡します。我々も若い人から元気をもらうことができます
し、生徒も地域のために動く機会があってお互いにいいと思います。

今朝も玄関前を見るとすごくきれいだなと思いました。PTAのご協力で植えられたとい
うことですが、あの花は生徒さんが植えたりしたものではないのですか。

(難波総括教諭)

ほんとに数名は協力してくれています。緑化委員というものが一応はあります。

(渋谷様)

連合としても力を入れているのだが、花が嫌いな人はほとんどいないと思います。そ
の喜びが情操教育になると思っています。

(前田様)

グリーンヒルが近所なのですが、挨拶をしたらちゃんと返してくれます。日頃の先生
方の指導と、もちろん保護者の家庭での指導があると思うんですが、大変印象が良いで
す。

3年前、娘が入学した頃に実施して以来の活動かと思いますが、地域には高齢者が多
いので、コミュニケーションを取れて、好評であったと思います。一生懸命取り組んで
もらった姿が印象的でした。

部活でも、野球の3チーム合同で練習していて、YCVに出ているのを見ながら、頑張っ
ているなと娘と話していたところです。

本当にコロナ禍でまだ、緊急事態が来るか来ないかという中で、先生方が目標を立て
て、中間報告もしていただいて、大変な中ですが、ありがたいと思います。私も卒業し
た身ですがお手伝いできたらしますので、よろしくをお願いします。

(渡邊様)

去年までコロナでできなかったことが、今年は色々と再開できてとても嬉しく思いま
す。生徒がすごく楽しそうで見ている嬉しかったです。先生方もほんとに大変だったと
思います。

行事ごとに生徒の顔に現れているなと感じました。綱引きもほんとに楽しそうに生徒が取り組んでいました。陸上競技大会も生徒それぞれが考えて動いていたところが印象に残っています。文化祭では生徒たちもイキイキしており、実際にお会いしたお父さんもほんとに良かったですねとおっしゃっていました。親も楽しめる行事があった良かったです。

植栽についても、玄関前が明るくなって良かったです。

バス旅行などPTA主催旅行も少しずつ戻ってきているので、このまま活動できたらなと思っているところです。

15期で卒業した息子が初めて学校に入れてとても嬉しそうでした。久しぶりに来て、「仮ID発行してください」と言ったら、先生たちに笑われたと楽しそうに話していました。

来年も状況によると思いますけれども、たくさんの方に見ていただける行事ができたらなと思います。

(副校長)

資料の方は年次や教科の資料がついています。時間の関係上、各自でお読みいただくということでお願いします。本年度は学校判断で行事ができます。判断が難しい状況ではありますが、行っていきたいと思います。生徒が色々参加できているという点は昨年度と違う点かと思います。10月のはじめには研修旅行で20期がハワイアンズに行くことができました。

去年行けなかった卒業年次生も12月2日にミニ遠足という形ですが、計画しています。だんだん行事を復活していきたいと思います。

《休憩》(11:00~11:15)

第2部 地域連携部会(11:15~12:00)

(1) 地域連携事業について

(副校長)

先程も話に出ましたが、地域貢献デーにつきまして浦野からご説明申し上げます。

(浦野総括教諭)

地域貢献デーについて、ご協力頂きましてありがとうございました。

県の事業で、地域に貢献する内容として実施するものと言われるものです。具体的には各校の独自の判断で行っているものです。他の学校の実施内容についても、聞いているところでは近辺の清掃が多いようです。前任校ではクラスから数名が駅から高校までを清掃していました。全員が清掃するのは珍しく、本校のものは比較的規模の大きいものかと思っています。

コロナ以前には白根の里にもご協力いただいて、レクチャーのあと、中のお手伝いをするというような活動をしていました。今年どういうふうにしようかと、山田さんとも打ち合わせしながら、企画していった感じです。しかし、屋内での活動はまだ無理だろうということで、屋外で何をするかという話し合いを進めてきました。

ケアプラザについて、それぞれのひかり、白根、今宿西にご協力いただき、ケアプラザに各地域の自治体に話を持っていってもらって、日にち指定でなにか高校生という人的資源を利用しながらお手伝いはできないかと提案しました。各ケアプラザから1クラス、2クラスくださいと伺い、1年次の職員にこの活動はどのクラスがするかということで、リストを見て選んでいただきました。

生徒や担任の先生に場所を案内しなければいけないので、前もってルートの確認をしていましたが、今宿の方でも、この日高校生と一緒に清掃活動しませんかというようなポスター作っていただいて、期待されていると感じていました。当日はたいへん暑かったですが、地域の方々やケアプラザの方からはありがたいとの声を頂きました。冊子、広報誌のようなものを作っていただいた中にその記事を載せていただきました。

参加できなかった地域の方にもそのような活動があったということをお知らせしていただいたようですので、生徒の励みにもなったかなと思います。

しかし、日にち限定という点が不安要素でもあります。生徒に対する教育的効果もかなりあるのですが、雨のときにどうするかということを考える必要があります。雨天時にも対応できるように、屋内での活動が理想ですが、病気にリスクのある方のいるところへ生徒が行くのは厳しいところがあります。

来年度以降も、地域貢献は継続していかなければならないと思っております。

(東南総括教諭)

授業公開については吟味した結果、1日限定開催となり、1日だけの授業公開をしました。

文化祭が一日だったこともあり、文化部の活動がご覧になれなかった保護者もいたかと思っておりますので、展示室を用意し、文化部の作品を残したうえで授業公開と一緒に展示させていただくという企画をしました。

結果的にのべ12名の参加がありました。アンケートの結果より、生徒が授業を一生懸命に受けていると肯定的な意見を頂きました。受検を希望している中学生と保護者の方の参加もありました。また、作品をご覧になった上で、良い取り組みを見せていただいたとの肯定的評価を多く頂いて終了しました。

(副校長)

ズーオロジーについて、動物園の展示の方法について理解を深める授業を行っています。とくに、歩いて5分ぐらいのところにズーラシアさんがいます。また、本校の100分授業、現在短縮で90分ですが、長い授業時間を利用して、現地で動物を見たり、バックヤードを見せていただいたりと非常に生きた授業ができています。

去年は中止になりましたが、また年明けて1月頃には、来園されている方に「担当動物について説明する」という取り組みを行う予定です。自ら考えて人に伝えるということを学べる授業、非常に特色のある授業であると考えています。今後ともどうぞよろしくおねがいします。

続いて、特色ある授業ということで、家庭科の方から「子どもの発達と保育」について、東南先生よろしくおねがいします。

(東南総括教諭)

保育者の立場を学ぶ授業 四季の森幼稚園にお世話になっています。年間で2、3回生徒が幼稚園にお邪魔して子供の発達の様子や成長を学ばせていただいているものです。

2年前くらいから、川井宿保育園（現在は子ども園）からの協力がいただけたので、幼稚園と保育園にお邪魔させていただいて、保育者の立場に立って、生徒が学ぶことができます。実際に子供を見て学ぶ機会を年2回持っています。時間が許せば、園長先生に保育者としての心構えなどを講義していただくこともあります。最近では、コロナの関係もありまして、おたがいに感染者が出たりすると、延期となってしまうことも課題としてあります。コロナ等の不確定要素もありますが、できるだけ現場に行って学ばせていきたいので、今年度以降も続けていきたいと考えています。

(2) 委員よりご意見ご要望等

(副校長)

以上4件の事項をご報告させていただきました。
皆様からコメントを頂ければと思います。

(小玉様)

進学する生徒さんが新しい選抜に対応しなければならないという話がありましたが、地域で活動するとか、そのことと総合型選抜との対応など意図的に結びつけていけるといえるかなと思いました。

大学としても手探りの状態ですので、何か際立った特徴を持った生徒さんを受け入れたいというのが大学側のニーズとして出てくると思います。このような経験をしたとか、このように成長させてきたということが言えるといいと思います。具体的な地域での体験が材料や生徒にとっての自信になると思っています。

(大久保総括教諭)

ズーオロジーや子どもの発達と保育などを受講するといった、そういう経験がある人達は強みを持っています。その意味で、もっと色んな体験をさせてあげたかった年次であると言えます。

(久保様)

資料を見て卒業生の方の進路状況を見ると、動物園などがあるので、ズーオロジーが影響していたりするのかなと思って拝見していました。

旭陵高校さんはかなり特色のある授業だったり、単位制だったり、ICTだったりというものがあると思うのですが、統合に向かってこの高校の特色がどうなるのかが気になりました。

これまでの取り組みを県や教育委員会がどう考えているのかなと、質問ではないのですが興味を持っているので、そう思いました。

(副校長)

そちらについては、また情報が入り次第、ご報告します。

(大和田様)

障害者の施設ではあるので、学生さんには福祉の現場体験などで交流ができると考えています。しかし、コロナ禍で、外部の方を受け入れてというのは進まないところがあります。こちらとしても、そういう機会を持って、福祉の業界は人材不足と言われている現場なので、学生さんの実体験を通して興味を持っていただくことが大切だと考えています。

いつ頃、学生さんに来て頂ける機会があるか考えてしまいましたが、来年度は是非お越しただいて、体験の機会を設けていきたいです。

(中野様)

さきほどの地域貢献デーについて、日にちが決まってしまっているのがすごく残念です。

10月の共同募金のことなど、お金の使われ方を30分ぐらい勉強して、活動すると勉強になると思っています。

旭区でもジュニアボランティアというような赤い羽根の募金を手伝ってもらったり、車椅子を押すのを手伝ってもらったり、やってもらいたいことはたくさんあります。

社会福祉協議会の会合を手伝ってもらったり、介護とまで行かなくても給食のときに子どもたちに来てもらって、高齢者と話してもらったりなど、してもらいたいことはた

くさんあります。そのため、日にちが限られてしまうのが残念です。その経験をして、福祉の方面に進んだ児童もいます。日にちが決まるにしても、地域に合わせてもらうことができればとてもいいなと思います。

ただ掃除だけというのはもったいないと思います。

ところで、先程の子どもの発達と保育の授業は、保育の道にすすみたい子が選ぶのですか。

(東南総括教諭)

基本的に2年次で選択するよう指導しています。

授業の中で、進路選択の材料となる体験をして心を決めてもらいたいと思います。

(中野様)

社会のことを生徒に身に着けてほしいので、地域貢献デーをこちらの活動日にぜひ合わせてほしいと思っています。子どもたちの経験にもなるし、せっかく来てくれているのに、時間が決まっているので、掃除しかないなと残念に思っています。できるものであればそうしていただけるといいのかなと考えています。

(副校長)

担当と連絡を取りながらの対応となるかと思います。

続いて渋谷様お願いします。

(渋谷様)

私も同じように質問させてください。学校の日程では、地域貢献デーの日にちは決まっているものなのですか。

(浦野総括教諭)

単位制の高校であることから、一般の授業を入れにくい時期がちょうど9月のはじめにあります。県からは、地域との連携事業は9月～11月に行ってほしいとだけの指定があります。

(大久保総括教諭)

年間教育計画は前年度の3月に確定させ、4月からその通りに動き出していくことになります。

(渋谷様)

できるだけ早く教えてもらえると、各自治会に伝えることができますので、いろいろな可能性があります。今年度実施日の直前に「旭地球を助け隊」の活動もありました。日にちが確定した際には早めに連絡してくれると助かります。

雨天対策については、お年寄りと話をしたり、輪投げ大会をしたりしたいですね。終了後に車座になって話す機会があれば子どもたちにとっても我々にとってもいいのではないのでしょうか。

また、ズーオロジーは特色を生かした素晴らしい取り組みだと思います。ズーラシアは小学校1年生が遠足に行くときに依頼があり、我々是一緒についていくことがあります。その時に、ズーオロジーを学んだ高校生と一緒に回ってくれるといいのかもしれないと思います。それが、生徒にも我々にも勉強になることだと思います。

(前田様)

娘もズーオロジーに行って、動物関連の専門学校に通っているのですが、この授業があることで本校に来たいという生徒も多くいます。

この授業がなくなったら、高校から動物について学べる授業を受けるためには、どの学校に行けばいいのかわからなくなってしまいう生徒もいるのではないかと、娘と話していて心配していたところです。本当にズーオロジーを残してほしいと思っています。

(渡邊様)

ボランティアやズーオロジーといった生きた学びが早い段階で体験できるのが特徴かなと思います。ただ見学に行くっていうのではなく、授業の一環としていくことに意義があります。

ボランティアについても子供から聞いていると早く講座が埋まったり、抽選になってしまったりするようですので、早い段階から生徒自身が考えなければいけないと思います。

どのボランティアに参加するべきか、どの授業を履修登録すべきかを考え、そのアドバイスを先生から聞いてというような形で、生徒が自分で考える力を養うことができる点も特徴かと思えます。

学校生活でも、常に先生方が困ったことを聞くと、すぐに答えてくれると子供が言っていました。大変にありがたいことです。

(副校長)

頂いたご意見を校内の方でまとめながら進めていきたいと思っています。

それでは校長よりご挨拶申し上げます。

(3) 校長より

(校長)

委員の皆さま、本当にありがとうございました。貴重なご意見を頂いて、本当に感銘を受けています。温かいお言葉ばかりで感極まっているところです。地域の方や、連携している方々あつての学校だと思います。

再編統合に向けて、久保委員から頂いたお言葉を、そして特色が生きるようになってほしいということを教育委員会に伝えていきます。

令和8年度までは生徒が少なくなりますが、これまでの教育活動を継続する方針です。決して手は抜かずに頑張っていきたいので、今後のご意見をいただきたいと思っています。

この会は、今年度の分がもう一度あります。最後の最後まで生徒のためにやっていきます。

(4) その他

(副校長)

次回の日程について、第3回の学校運営協議会は、令和5年3月11日(土)13:30~15:30(予定)です。

これを持ちまして令和4年度第2回学校運営協議会を閉会とします。ありがとうございました。